



# みつくura



## 《 北米産大豆 》

### 16/17年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほど発表した、16/17年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は前回比1.4%増の3億3,041万トンとなりました。米国などで増産となった一方で、インドなどでは減産となっています。

前回に続き需要も増加しているが、生産高の増加が上回り、期末在庫は前回比6.2%増の7,124万トンと上方修正されました。

また、同日発表された16/17年度の米国大豆生産・需給予測によれば、作付・収穫面積は前回並みだったものの、単収が前回比4.7%増と大幅に上方修正されたことにより、生産量は史上最高見込みとなりました。ただ総供給量は期初在庫が下方修正されたことで、前回比2.0%と上方修正幅はやや抑えられました。なお総需要量も搾油・輸出共に前回から増加したことで前回比1.2%増加しましたが、供給量の増加が上回ったことで、期末在庫が上方修正され、在庫率も前回の7.3%から8.2%に上昇しました。

### 16/17年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億3,041万t	(対前年比 5.7%増)
消費量	3億2,982万t	(対前年比 4.0%増)
期末在庫量	7,124万t	(対前年比 2.4%減)
期末在庫率	21.6%	(対前年度差 1.4ポイント減)

### 16/17年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億1,050万t	(対前年比 3.3%減)
消費量	5,622万t	(対前年比 2.8%増)
輸出品	5,307万t	(対前年比 3.7%増)
期末在庫量	897万t	(対前年比 29.1%減)
期末在庫率	8.2%	(対前年度差 1.6ポイント減)



### 米国大豆開花率、着サヤ率は平年上回る - 作柄良好

米農務省がこのほど発表した、8月14日現在の米国大豆開花率は、主要18州平均で95%（前週91%、前年92%、平年93%）と平年を2ポイント上回って進捗しています。

同日現在の米国大豆着サヤ率は主要18州平均で54%（前週35%、前年48%、平年44%）と平年を10ポイント上回っています。

また米国大豆作柄状況は、主要18州平均で普通21%（前週21%、前年26%）、良好55%（前週55%、前年49%）、優良17%（前週17%、前年14%）と良・優合わせて72%と前年を9ポイント上回っているなど順調に生育が進んでいます。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



# みつくうら



## 《 国産大豆 》

### ○平成27年産国産大豆入札情報

平成27年産国産大豆の7月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数量6,090トンで、落札数量が4,091トン、落札率が67%という結果となりました。平均落札価格は、60kg/9,612円と前月並みで推移しました。

普通大豆の銘柄別では、九州産フクユタカもついに価格が下落し、一部の産地・品種では不落も目立つ結果となりました。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
15年11月	1,503t	1,503t	100%
12月	3,511t	3,095t	88%
16年 1月	8,865t	7,119t	80%
2月	8,872t	6,916t	78%
3月	8,341t	6,439t	77%
4月	8,528t	6,366t	75%
5月	8,210t	5,641t	69%
6月	10,468t	6,172t	59%
7月	6,090t	4,091t	67%
合計	64,388t	47,342t	73.5%

## 《 トピックス 》

### 28年産大豆生産計画、大幅増の見込み

農水省の報告によれば、JA全農と全集連を合わせた、28年産大豆の作付面積は前年比4%増の12万3,763haと拡大が見込まれており、集荷予定数量は、10%増の20万8,144tと大幅増を見込んでいます。

北海道で小豆などからの作付転換により、15%増と大幅な作付拡大が見込まれているほか、青森、秋田、山形といった東北地方でも作付増加を見込んでいます。集荷見込みは、作付面積の拡大と比例する形で、北海道、東北で堅調な増加、27年産が日照不足などの影響で集荷量が伸び悩んだ九州で大幅な増加を見込んでいます。

### 28年産主要品種作付け状況

作付面積は品種によってまちまちですが、北海道での作付拡大を反映して、とよまさりとユキシズカが大きく増加しているほか、東北・関東・北陸で作付が拡大している里のほほえみは前年比29%増となっています。また、ここ数年相場の動向を大きく左右していたフクユタカは前年並みを見込んでいます。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>